京城日報
夕刊（火）
編輯兼發行人 兒島吉治　印刷人 小川三之介
京城府太平町一丁目　發行所 合資會社京城日報社

南京忽ち復興氣運

わが軍により治安完全に維持され

良民どつとばかり歸還

【南京にて十四日同盟特派員發】南京占領の皇軍は南京が支那の首都である點に鑑み特に治安維持、建造物の保護等に意を用ひ十三日夜の市街掃蕩においても多大の注意を拂つたが掃蕩完了の十四日朝から國民政府行政院、立法院、財政部各學校始め軍官學校、航空學校等軍事機關、各所の古蹟等にそれぞれ衛兵を立てて索り出入を禁ずると共に市内の治安に對しては憲兵隊が至るところに監視の眼を瞠つてゐる。市内では早くも秩序整然たるものがある、從つて郊外の農民はもとより中心とするビジネス・センターは十三日夜からぼつぼつ良民が歸還し始めてゐる、十四日朝になつたら俄然歸還者激增を示し南京目貫の市街に軒を並べる各商店は釘付の雨戸を外して開店の準備に忙がしい支那人がカーキ色の日本兵と身振り手眞似で立話しをしてゐる風景が見受けられる【寫眞は南京中華路】

けさ全市の掃蕩を終る

【南京にて十四日同盟特派員發】大野、今井、片桐各部隊は十三日、十四日に亘り南京城内の掃蕩を遂行した結果、十四日朝に至り略ね南京城内の掃蕩を終了し十三日午後四時過ぎ内の兵火は十四日朝に至り略々鎮靜するに至つた

在天盡忠の英靈に感謝

南京攻略につき　大本營陸海軍部談

【東京電話】大本營陸海軍部當局談＝我軍は十二月十三日敵の首都南京を攻略し城頭高く日章旗を飜せり、顧みるに我軍は八月二十三日、上海の一角に上陸して以來我が（…）敵の近代的設備を占領せる（…）に對してよく寡兵を以て執拗且つ果敢なる攻撃を反復しこれに徹底的打撃を與へ戰局の膠着狀態を打開して以來實に幾風霜を經たり、既に世界の戰史に未曾有の記録を顯してゐたが、今や彼等が死守を誓ひ不落を豪語せる首都南京においても敵に數日の抵抗を（…）これを放棄するの已むなきに至らしめたるはこれら皇軍の精強を顯明したるものにして誠に御同慶に堪へない、これもとより御稜威の然らしむる所であるが統帥の卓越、將兵の忠勇、擧國銃後の支援等の賜物にして就中江南の華と散りし英靈の加護といふべく、に謹んでこれら在天盡忠の英靈に對し心からなる崇敬感謝の至情を捧げる、上海、南京一帶の攻略は江南戰局に關するものとして戰略上重大意義を有するもので、如何に巧妙な宣傳をもつてするも支那側大敗の實情は今や全く覆ふに由なからう、經濟的中心上海の喪失、北支戰局の進展と相俟つて長期抗戰の企圖が如何に暴戾無謀の類であるかを自覺せしめるに十分であらう、しかれども蔣政權が抗戰を策する限り戰局の前途は遼遠と云ふべく國際動向また忽姿を許さないものがあるから更に緊褌一番新たなる勇猛心を振起し暴國一擧膺懲の目的を達成せねばならぬ

【東京電話】大本營陸軍部當局談（十三日午後十一時四十五分發表）曩に上海附近の頑敵を掃蕩し幾何もなくしてここに南京攻略の壯に接したるは（…）これ等より大元帥陛下の御稜威の然らしめる所にして感激措く能はざると共に我が忠勇なる將士の奮戰と銃後國民の熱誠なる後援に對して衷心感謝する次第なり、然れども出師の目的は未だ達せられたものに非ず、戰局の前途は尚遼遠なり益々戰局を擴充すると共に實力の徹底をはかり以て護國の大任を全うせんことを期しつつあり

蔣、果然負惜しみ宣言

蔣介石

【上海十四日同盟】南京放棄に當り蔣介石は十三日「支那軍は南京より退却すといへども對日抗戰は依然繼續する」との宣言を發表した宣言要旨左の通り

支那軍の南京退却はわが國民政府の一貫せる徹底的長期抗日作戰に影響を及ぼすものにあらず既に都を重慶に移した南京は政治上軍事上何等の重要性をも有してゐない、軍の作戰として陣地を時々變更することは當然のことで少しも危惧するに當らぬ從つて支那軍は作戰上南京守備軍及駐屯軍を〇〇〇方面に撤退せしめ、更に頑強の抗日戰爭を繼續せんとするものである【以上蔣介石】

張群も聲を合せて

【上海十四日同盟】大本營秘書長張群は十三日香港でトランス・オ（…）

幕僚長宮殿下

兩司令官に御祝電

【東京電話】大本營陸軍部十四日午前九時四十分發表＝大本營陸海軍部幕僚長宮殿下には南京攻略に際し左記祝電を昨十三日夜夫々松井軍司令官長谷川艦隊司令長官宛發せられたり

◇松井軍司令官宛
南京攻略の祝電
神速且つ適切なる作戰を以てする首都攻略の報に接し欣快措く能はず、有史以來の壯舉、赫々たる靑史に足るべき武勳に對し麾下將兵の連戰勞苦を多とし勇敢なる戰歿將士の靈を弔す切なり、前途なほ遼遠なり軍の使命達成に邁進を祈る

◇長谷川艦隊長官宛
南京攻略の祝電
有史以來の壯擧赫々たる武勳を慶祝す

南京の陷落は序幕

悲劇を繰返さぬため根本的に手術

近衛首相語る

【東京電話】政府は南京陷落の重大意義に鑑み今後に處する帝國の方針に關し十四日の閣議決定に基き正午近衛首相談の形式を以て左の聲明書を發表した【寫眞は近衛首相】

さしもの南京が斯の如く早く陷落したことはむしろ意外なことで、これ一重に陛下の御稜威の然らしむるところであるがまたわが陸海軍忠勇の致すところ國民擧つて感謝する次第である殊に戰傷死者に對しては捧ぐる言葉を知らない、本事變の當初において日本は出來る丈け不擴大解決方針をとつたので戰略的にそれだけ日本に無理であつたそれにも拘らず僅か數ケ月にして北は黄河以北の大地域を席捲し南は江南一帶の要衝地を（…）した皇軍の實力については事實が雄辯に語つて餘すところないと思ふ

◇

翻り日本軍隊のみならず總今日の日本の實力に對する（…）違ひが南京政府の致命的錯誤であつた、自分は支那がこの點に關する從來の認識を訂正し（…）上無用なる抵抗は止むべきであると思ふ、諸外國も亦東亞安定力たる日本の地位を正しく認識したければならない、ただし支那の軍隊も強くなつたあれだけの軍隊を本來の使命のために使はず見當外れの方向に使用したのは吳々も殘念であつてこれは全く支那指導者の責任といはなければならぬ、所謂本を正しくして末成るで國民政府が排日を前提として支那の民族主義を動員したことが千仞の功を一簣に虧く結果を招いたのである、我々は今日まで一貫して支那がこの點に猛反省を加へ翻然として日支提携の大道に歸ることを求め松井最高指揮官の投降勸告もこの已むを得ざる苦衷に出でたのである、これに對して一顧も與へなかつた僞瞞攻擊を敢行する外なかつたのである、南京陷落の報に接し我々は當然の勝利に喜ぶ前に同文同種五億の民衆の立場に立つて彼等の救ふべからざる迷妄を悲しまざるを得ない、頻りに南京死守を豪語した蔣介石は逸早く脱出し今尚長期抵抗を呼號してゐるが近代戰爭は軍事のみならず產業其他全般に亘り國家總動員態勢の上に行はれつゝあるゲリラ戰術の効果を期待するなどと言ふのは例によつて共產黨の術中に陷るばかりである

◇

國民政府は外交的にも實力の行動においてもその局限を盡したしかもその結果に對して責任を執らず、首都を捨て政府は分散し今や一個の地方軍閥に轉落しつつある今日なほ豪末も反省の色なきこと明白なるに至つては我々は改めて考へ直す外はない

◇

蓋し日本は抗日政權と軍隊に對しては飽まで膺懲の手を緩めぬが支那一般民衆の生活に對して關心なきを得ない

凡そ人民の有るところ政府無きは能はずその政府たるや實體あるものでなければならぬ、然るに北京、天津、南京、上海の四大都市を拋棄した國民政府なるものは實體なき影に等しい、然らば國民政府崩壞の後を受けて方向の正しい新政權が發生する場合日本はこれと共に共存共榮の具體的方策を講ずる外なくなるであらう

◇

今次事變において不虞の犧牲が友好第三國人の生命財產に及ぼしたることは同情に堪へない、然るに今や世界は一個の變革期である、この世界の時運を正解するものあらば親日的基礎の上においてのみ支那の國家組織は成功するものであり、又かゝる新政權の出現によつて歐米諸國の東洋における利益ははじめて安全であること疑はないであらう、支那事變は東亞における一個の悲劇である、この種の悲劇を繰返さぬためにはこの際日本は根本的手術を回避してはならぬ、南京の陷落はこの意味から云へば全般的な支那問題の序幕であつて眞の持久戰はこれから始まると覺悟せねばならぬ、この際內治外交百般に亘り國民諸君に一層御奮闘をお願ひしたい

パネー號事件

重大化せず

【ワシントン十三日同盟】アメリカ砲艦パネー號不祥事件はアメリカ政府及びアメリカ國民の極東問題に對する關心が薄らぎ著しく落着きを示して來た際のこととて再び人心を攪亂する如き結果となつ（…）

將來を見透し

準備を進めよ

時局につき　南總督注意

【南總督は十四日本府定例局長會議において（…）】（…）南京陷落後も不動である、中日戰爭勃發の初め中國政府は戰爭の永引くを知り長期抗戰の準備をなした、中國は實力の缺乏に憂ひなく更に財政の破綻に憂ひなし、一切の傷亡人士も數ケ月の訓練により後備軍を以て補充出來る、日本軍が更に南支及び準備線方面において戰爭を繼續する場合は組織の完備せる中國軍の強力なる抵抗に遭遇するであらう、また日本軍は南京陷落後必ず人民總意の名の下に自治政權を作るであらうが中國全國民はこれらの傀儡政府に對し一切の合法手段を以て堂々反對するであらう

遠方面は完全に治安を確立し經濟も安定し、特に鮮銀券はペーで通用してゐる、京津地方など既にペーに近くなり、上海、南京の陷落によつて近いうちには長江筋でも同樣になることと思ふ、台灣に近接する廈門、福建の狀況は未だ滿足すべき狀態には達してゐないが、恐らく適宜の措置が講ぜられることであらう、新政權も確立した、これ等の總てを綜合するに、來るべき狀態についての結論は自ら明であるから、この時にあたり各位はあらかじめ將來を見透し諸種の準備を進むべきである

臨時政府けふ成立典禮

【北京十四日同盟】臨時政府成立の典禮は十四日午前十時由緒深き居仁堂で嚴粛に擧行される、式典は諸員整列後、定刻江朝宗氏より新政府の綱領を朗讀し王克敏氏より新政府の陣容を發表し、國旗（五色旗）の揭揚、三呼の禮があつて湯爾和氏、中華民國、日本帝國、東亞萬歲を夫々三唱し歷史的典禮を終る【寫眞上は議政委員長湯爾和氏、下行政委員長王克敏氏】

たがアメリカ政府はこの事件の發生に際し事前に十分なる諒解がないわけではなくこの事件のため從來の政策を急變することはないものと見られる、事件其ものがアメリカ國民に與へた衝動は相當大きいがこの問題がこれ以上重大化するとは思はれない、政府は依然慎重沿線だがしかしアメリカ輿論の手前相當強硬な態度に出づることは明かであるが日本の出先官憲並に廣田外相が逸早くアメリカ官憲並にグルー大使に遺憾の意を表したことは大いに好感を持たれてゐる

米、英協議

【ロンドン十三日同盟】駐英アメリカ大使ジョンソン氏は十三日正午過ぎイギリス外務省にイーデン外相を訪問揚子江上における英米艦攻擊事件につき長時間に亘り協議を遂げた　終つてイーデン外相は首相官邸にチェンバレン首相を訪問、會談內容を詳細報告した、英艦射擊事件についてはイギリス政府の對策は未だ發表されないが英米兩國はこの問題について何事か協議した模樣である

黄海線（朝鐵）買收

二百八十四粁、一千五百萬圓

明年度豫算に計上

日支事變勃發と共に輸送上重要な任務を果した鐵道局は、さらに國防第一線の鐵道として益々設備・陣容を擴充するため改良事業促進を主力とする明年度豫算を編成し目下吉田鐵道局長はじめ小林經理、清水工務兩課長並に猪田監理係長が東上、政府と折衝に努めてゐるが、鐵道局は明年度において京城、新義州間の京義線輸送力強化を圖る複線計畫について朝鐵黄海線士城、海州沙里院間の狹軌全線二百八十四粁二分、一千五百六十五萬二千百六十五圓を買收京義線心臟部の複線化を行ふことに決定買收費と共に全線の廣軌改良費約一千五百萬圓も併せて計上した、京城、土城間及び沙里院、新義州間は既定改良費の增額繰上げにより全工事は昭和十五年度に完成の豫定でこれにより京釜、京義の兩國際路線の複線計畫は完成し、さらに待望の中央線も竣工、一方電化工事の促進により國防線としての半島主要鐵道の輸送力增強は達成されるわけである

戰局日記【十三日】

南京完全占領

【十三日本社前線報の戰況摘錄】世界の戰史に不滅の一ページを印した輝しい瞬間が遂に訪れた皇紀二千五百九十七年、昭和十二年十二月十三日夕刻敵の首都南京を攻略せり──同日午後十時二十分大本營陸軍部の發表である、即ち去る十日南京城々門に殺到突入して南京陷落第一歩を踏出した皇軍は挾河の(…)をもつて包圍態形を刻々縮め、十二日正午には城門中最も堅固を誇る中華門（南門）を占領、十三日午前六時には東側、南側の城壁全部を占領、潮の如く進入した皇軍各部隊は壯烈な市街戰を展開しつゝ中央軍官學校、國民政府等各要所を逐次占領して夕刻、江南の空澄みわたる中に南京各所に日章旗を燦然と輝かした、その日の朝、光華門には(…)の搏摩が掲かれた──脇坂部隊の皇居遙拜式だ、日章旗は朝風にはためき東天に御來迎だ將兵は泣いた、みんな感謝に泣いたのだつた

新政府成立

南京完全陷落の日──北京に新政府が成立した、凋落と建設、國民政府の虐政に喘いでゐた支那民衆の要望は遂に炸裂して、東洋史に、世界史に特筆大書さるべき新政府が古都北京に偉大なる誕生を遂げたのだ──その名『中華民國臨時政府』その宣言綱領は『親日滿、反共、經濟、產業の開發、興村更生』──その組織は『三權分立』──議政委員會（委員長湯爾和）行政委員會（委員長王克敏）司法委員會（委員長董康）が成立、その國旗は五色旗と定められた、やがて東亞安定勢力となる日が近い

米砲艦沈沒事件

十一日夕刻、わが海軍航空隊は南京上流においてて米砲艦を敗走支那軍艦船と誤認して沈沒させた、わが當局では米當局に對し遺憾の意を表し更に遭難者救助に全力を盡してゐる

南京陷落狀況詳報

【上海十四日同盟】南京市街戰において大捷を博した我が南京包圍戰は十三日夕刻敵を壓倒し遂に敵首都南京を我が手中に收めた、敵首都に止めを刺した十三日の總攻擊には助川、野田兩部隊は東北方より下關及び太平門を突破して城内に殺到、片桐、大野兩部隊は中山路に突入、脇坂、人見、伊佐、富士井各部隊は中華門、通濟門より長谷川、岡本（保）竹下、岡本（鎮）諸部隊は西南方より轡を並べて城内の抵抗を蹂躙し敵の軍事、政治、經濟の重要機關を占領日沒頃には南京一帶を我が手中に確保敵の無士の抗日も見事こゝに終焉の悲運に陷つたものであつた

齋藤大使

遺憾を表明

【ワシントン十三日同盟】ワシントン駐劄帝國大使齋藤博氏は十三日午後一時過ぎ國務省にハル國務長官を訪問、本省の訓令に基づきパネー號不祥事件について正式遺憾の意を表明し謝罪を遂げた

英當局に陳謝

【ロンドン十三日同盟】駐英帝國大使館附陸軍武官辰巳榮一中佐は本省の訓令に基き十三日午後六時イギリス陸軍省を訪問英艦事件に對して遺憾の意を表明した、ロンドン駐劄帝國大使吉田茂氏も本省の訓令に基き十四日イギリス外務省を訪問の筈

末次内相參議辭任

【東京電話】末次大將は内相就任に伴ひ十四日内閣參議の辭表を提出、即日聽許され左の如く發令された

正三位勳一等　末次信正

依願內閣參議免せらる

末次內相

抱負を語る

【東京電話】末次新內相はけふ親任式後左の如く語る

自分は內務行政に關しては全くの素人だ、しかし大いに勉強して國家のため御奉公したい今の自分に期待して貰つてよいことは人事を公平にやるといふことだ、由來內務省の人事は難しいもの複雜なものと聞いてゐるが素人の自分には却つて公平にやれるのではないか、今や日本は一つの方向に向つて進んでゐると思ふが、自分もこの方向に向つて國務大臣として邁進して行きたい【寫眞は末次內相】

【線外赤】

末次新內相に「今日から閣下は武官でなく文官ですが今日の親任式に着る禮服はありますか」と聞くと「唯一着英國駐在當時作つたフロックがあるのを思ひ出したので今朝前の奧から引張り出してみたが小さくて駄目さ、急に新調するといつても間に合はんから新年に間に合せることにして今日は海軍禮裝で行くよ」と流石に嬉しさう

各地を爆擊

【上海十四日同盟】艦隊報道部午前十時發表＝海軍航空隊は昨日午後南京陷落と時を同じうして長躯江西省吉安王山飛行場浙江省衢州飛行場を空襲し城內に待機中の敵機數十を爆擊大破せり

人

◇李恒九男（李王職次官）東上中のところ十四日夕のぞみで歸城
◇世耕弘一氏（代議士）十三日入城、備前屋
◇田中亮一氏（代議士）十四日入城、不知火
◇佐藤忠一氏（京城本町署保安主任）新任挨拶のため十四日本社來訪
◇岩男省三氏（本府遞信局監理課長）外遊挨拶のため十四日本社來訪

天地玄黄

北京に新政府成立、中華民國初めて明朗調を帶ぶ
×
東洋平和の第一步は中華民國の安定から踏み出さねばならぬ新政府の使命や重大
×
新支那の誕生と生育は、日本の正義の如何なるものであるかを明證するもの
×
何しろ多年歪められた支那のこと、これを正しきものに矯め直すまでの苦勞並々でなし
×
『眞の戰はこれから』といふ意味、以てよく味はふべし

國定忠次 (140)

長谷川伸作　岩田專太郎畫

提灯攻め (五)

玉村の主馬は一隊を率ゐて枝に廻り、晉上の原を東から西へ向ひ忠次を襲ふ計畫で、仙左を先頭に繰りだした。兄の京蔵は或る一隊を率ゐ、忠次の正面からかゝる豫定で、これも既に行動に移つてゐる。

京蔵の正面組もさうだが、主馬の側面組も亦、同じやうだ。率ゐてゐる者の數がだんだん減つて、始め四十餘人ゐたものが、いざとなつた間際に、その半ばが逃げ去つたり、病と稱し休んだりしたのである。

主馬はそれと知つて憤り、口汚く、

『今になつて逃げるなんて卑怯な奴輩だ。いゝやがれ喧嘩がすんだら一人づつフン縛つて不具にしてやる。忠次なんて奴は、これだけで對手になつても餘らあ』

兄の京蔵は主馬と違ひ、聡のた

細引縄が地面二三寸に杭を打つて張つてあるのだ。

起きんとして京蔵は、聡を細引縄の下に突ッ込んだ。

『しまつたー』

味方の大將が計略に引ッかかつた、と、見るより早く、玉村方はわッと逃げた。それに誘はれて主馬の組のものまでが逃げ去つた。

主馬は風前になつた。仙左だけはさすがに逃げずにゐる。主馬が『仙左、もう仕樣がねえ、逆襲を諦めろ』

『口惜しいな、これでお終ひになるとは』

『これも潮だ。まさか兄キを棄てゝ今逃げたのでは、今日後、おまんまにならなくなる。仙左、渡世を捌まろ。俺あ兄キの傍へ行く』

その兄キは國定方の文蔵その他の手丸提灯十餘張りに、周囲をぐるりと取卷かれてゐる。

身内の者はと見ると、提灯の明

かでは失認してゐるが口には出さない。

この二組が豫めの約束通り、のろし煙火を互ひの合圖に、正面と横とで一齊に、どッと鯨波の聲をあげにかゝつた、が、不揃ひで、鯨波すこしもあがらない。そればかりか二組とも、足は釘付け同然、胴は搖つてゐるが如く顫へた。

『それッ』

稍闇の下から要蔵の手丸提灯を一齊に、冠せて置いた蓋を除いて手に手にとり、一列に並んで高く掲げた。

それを見て慄然となつたのは主馬だ。蒼流しで、しかも、多くの出迎への如く、提灯を並べられたのが餘りにも意外である。

兄の京蔵はぎよッとしたものの

『對手はあの服装だ、油断してやがるんだ。畜ッちまへッ』

と、下知をかけた。さすがに命知らずゐる四人、ばらばらと飛んで出た。

京蔵は勢じに乘り、自分も抜刀をふつて飛んで出た。

と、味方の四人、何に足を掬はれたか、楠を轉がした如く倒れ、起きんとして又倒れた。

京蔵も足を掬はれ、ばッたり倒れ、

にはいつた人間魚。逃げるも聞ふも出來ず、土に坐つて俯向いてゐる。主馬が、

『忠次には日光の圓蔵が付いてゐねえだんで喚た、こんな計略が忠次で出來るものか。俺達は決して忠次に負けたのではねえんだ、見たことはないが圓蔵つて男に手もなく捕られたんだ。われながらずではねえ』

京蔵の傍へ行き坐つてゐる主馬と仙左の前へ、新蔵が殘久松その他三人で、提灯を振り照らし、近づいて、

『主馬。神基の仙左衛門。迎へにきただ。足許が暗いだから氣つけて京蔵の傍へくるがいゝ』

『……』

『なあ主馬。おらお前に聞きてえだ。お前、成松と一緒におらが方の影物小助を旅場にしただらうが』

『そんな云ひがかりをいふものではないね。喧嘩には負けたらしいが、そんな濡衣を着せられて堪るか。忠次どんがそんな事をいへといつたに違えねえ、ヂヤ俺が忠次どんに掛合つてみる』

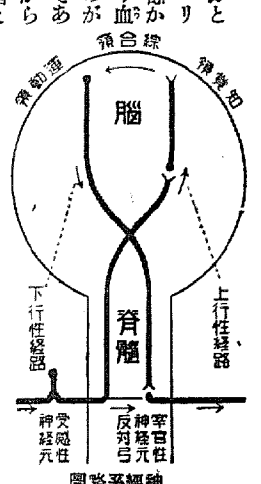
『や、さうでねえ。親分におらが今いつたこと内緒だ』

新蔵は行過ぎを後悔したが遅い。

神經痛の冷え痛む惱みは

節々の病毒を取り血行を整へられヨ

寒さに向ふと起る神經痛、リウマチは病毒から血液が濁り血行を妨げるのが第一の病原であります　だから其の根本原因となる節々の病毒は體外に排泄し、血行を整へられるのが治病への近道でせう。ではどうすれば排泄出來るか。

人知れぬ此の苦しみ
病毒ふる血とは何か

自惚と痼氣の無い者は無い―と昔からも云はれる通り、若氣の過ちによる感染毒か、親からの遺傳毒に、日頃嗜む酒、煙草の毒などが加はり、古方醫學で云ふ「ふる血」となつて血液を濁らし血行を妨げる結果、前記の樣に人知れぬ苦しみを起すのであります。云ひ換へれば昔から諺にもある「血行の不順は萬病の因」こそ治病の眞理であつて、從來は蛭に毒血を吸はせたり吸角による瀉血法、或は破血劑と稱する峻下劑療法等で治療して參りましたが、幾分の副作用ある缺點を痛感し現代醫藥學的立場による古方醫學の再檢討は穏に體外に排泄して血行を整へる新療法の創見に成功いたしました。

如何にして治病の實績を擧げるか、詳細はハガキで東京市京橋區西八丁堀二の十一、古醫學研究所へ申込まれゝば無代進呈する「ふる血療法」によられ度し。

手足や腰が冷え痛み (神經痛)
節々の痺れに惱んだ父が

朝鮮　大場勝吉

大黑柱として一家の皆がたよりにしてゐた父がひどい神經痛にかゝつてしまひました。藥だ、病院だ、と騒ぐのが嫌な父は仕事から歸つて來て、手足や腰が冷え痛んでも口に出さずにゐましたが遂に顔に現れ、頰の肉が變に引きつる樣になりました……フルチ錠を服用しましてからは經過良好で節々の痺れや腰のいたみは大變和らぎ、近頃では永い間見なかつた父の笑ひ顔が久し振りで見られる樣になりました。(後略)

古醫學から再檢討
病毒排除　血液循環とふる血療法
無代進呈 (四六判克製)
◆こんな症状の方は是非一讀あれ
申込所　東京市京橋區西八丁堀二の十一　古醫學研究所

前東京吉原遊廓病院　小關良明先生創製
排毒と血行順に　フルチ錠
價　十日分 一圓三十五錢　二十日分 二圓五十錢　五十日分
(全國有名藥店にあり)

神經系略圖

マルツエキス　甘いのみよい
コドモの便秘に　牛乳やミルクにマルツを少しづゝ……
和光堂

絶對保證の甘栗を　本年より弊店舗で……
朝鮮みやげ
京城本町二　海市商會

新カルケットは近く……　素敵な五錢包が出來ました　包紙10枚でコドモ漫畫雜誌一冊贈呈

目下大評判大賣行の傑作レコード
キングレコード
軍刀ぶし　三門順子唄
戰地から故郷から　塩まさる・新橋みどり唄
あゝ我が戰友　近衛八郎唄
進軍第一步　松島詩子・樋口靜雄唄
軍國子守唄　塩まさる唄
蓄音器店で是非御試聽下さい

□戰勝京城に　街頭いよいよ　景氣分張る　十五日より末日まで
平田吳服部年末大廉賣
△年末謝恩の爲め實用吳服山積　思切り大廉賣

濕布に　エキホス
純國産品
感冒、肺炎、氣管支炎、咽喉カタル、肋(膜)膜炎、肩胛凝痛、神經痛、ロイマチス、腰痛、火傷、凍傷、百日咳、その他すべての炎症性、疼痛性疾患にエキホスを塗布すれば、局所の血液循環を佳良にし、充血、疼痛を輕減し、腫脹を去り、滲出液を吸收す。濕布の如く手數を要せず、一回の塗布にてよく長時間効力を持續す。
全國信用ある藥店には必ず「エキホス」の備品あり

●旅行！おつと待て　ノーシン　忘れちや大變だ

不動産の合理的管理引受
土地、家屋の合理的管理は
京城不動産株式會社

佐藤内科
内科一般特ニ……
院長　醫學博士　佐藤小五郎

煖爐の傍で飲むによし！
カルピス
美味・滋養・強壯飲料
年末ど贈答　特に御病人やお子樣方には絶好の贈り物です！

皇紀二千五百九十七年
昭和十二年十二月十五日
京城日報
(日刊)
京城日報
朝刊
國家に軍備・家庭に保險
備へあれば憂へなし。
力强き軍備あつて初めて
國の守りも安全です。
家庭にも常に備へがなくてはなりません。一家を護る力强い楯こそ生命保險證券です。
明るき家庭に保險の武裝、最も確實有利な當會社の保險證券を御勸めいたします。
堅實なる經營
鞏固なる基礎
寛大なる約款
詳細なる說明は本社又は最寄支部へ御申入を乞ふ
契約高 十八億七千餘萬圓
資産 二億九千餘萬圓
千代田生命
六大附錄つき
新少年
見よ！この附錄!!この内容!!
第一附錄 支那事變皇軍奮戰双六
第二附錄 新案空中戰競技
第三附錄 神変辻斬り捕物陣
第四附錄 (別冊)無敵皇軍
第五附錄 (別冊)はりきり漫画從軍記
第六附錄 (別冊)鳴門秘帖
萬歲!萬歲!!勝鬨あがる
二大兒童雜誌 新年特大號
博文館
第一附錄 忠勇無双軍歌双六
第二附錄 漫画寛永御前試合
第三附錄 面白びつくり魔術虎巻
第四附錄 新案軍國家族合せ
第五附錄 大相撲寫眞大番附
第六附錄 痛快遊戲赤襷隊白襷隊
一讀血湧き肉躍る大讀物!!
六大附錄つき
譚海
圖書案內
新教育体操
老子講義
日本文學の精神
儒教の精神
農業土木 上・下
蔬菜 根菜
糧食の改善と加工
利殖之祕訣
原色日本鑛物圖譜
日滿支・展開地圖
育林學原論 (改訂新組)
土堰堤
小麥製粉と製麵
見よ!清新潑剌!誌界に誇る大內容!!
昭和十三年の景氣はどうなる?
現代
新年號
列強の外交戰を語る
日本道の高揚 荒木貞夫
支那を徹底的に膺懲せよ 雨宮巽
老英帝國を衝く 中野正剛
現代日本人物論 鳥田俊雄
春場所大相撲を語る
女性神髓 林芙美子
元祿武士道 川口松太郎
青春道中 サトウ・ハチロー
去る日來る日 尾崎士郎
文壇大家隨筆集
短篇傑作集
名將・武將を語る座談會
時局の話題・時局語辭典
日本基督教の行くべき道
名士感激實話集
現代 定價八十五錢
大日本雄辯會講談社

年末御贈答品は

天機殊の外御麗し
御慶祝に輝く大内山

【東京電話】御稜威の下、南京は遂に陥落、東亜永遠の平和の曙光は燦然と輝き始めた 大元帥陛下には殊のほか御満悦の由拝し奉るだに畏き極みである、この御歓びの日十四日、前夜半より入電の南京陥落の公電を侍従武官府より御内奏申上げれば 陛下には御満悦の御模様に拝され、なほ十一時には閑院参謀総長宮、伏見軍令部総長宮両殿下を御召し遊ばされ優渥なる御言葉を賜はつた、引続き杉山陸軍、米内海軍両大臣、宇佐美武官長、松平宮相ら続々参内、御祝辞を言上申上げれば 天機殊に御麗しく拝されたと洩れ承る、また東伏見宮両殿下には 天機奉伺の御料が用意され松平、小山両院議長ほか高官連が参内、それぞれ記帳の上御祝辞の執奏方を依頼、退下するもの引きも切らず、宮内省官房には各地方長官 警察、市会等を初め御慶祝執奏依頼の電報が続々到着するなど大内山は御慶祝の色ひとしほ濃やかである

三萬圓の"寸志"
朴榮喆滿洲國名譽總領事が
奉天東光中學に寄附

治外法権撤廃をめぐつて學園に生れた鮮滿一如の麗しい實話――朝鮮商業銀行頭取で滿洲國名譽總領事を兼ねてゐる朴榮喆氏は、かねて鮮滿一如の實行家として各方面の敬意を集めてゐるが、今度滿洲國に治外法權が撤廃されたのを記念として、滿洲國内に唯一ケ所しかない在滿同胞の經營する奉天東光中學校の基本財産の一部として奉天にある朴氏所有の土地三十二萬坪（約三萬圓）を寄附することになりこの程正式に本府に寄附を申出で、南總督は朴氏の篤擧に感激し、十四日寄附受領の手續を認可した、奉天東光中學校は本年四月在滿同胞有志の發起で設立された在滿唯一の半島人子弟の中學校で、朴氏の寄附を受けた學校關係者は心から感謝し、本府の認可があつたので、學校經營の主體を近く財團法人に改めるはずである

朴氏談 右に就いて朴榮喆氏は十四日自宅で次の如く語つた

「今次滿洲國名譽總領事を拜命したので御挨拶のため新京に赴く途中奉天に立ち寄り、同胞有志の人々とお逢ひした、その席上で奉天に初めて朝鮮人子弟を教育する中學校が同胞有力者の手によつて設立されたことを聞きピアノを一台寄附しました、在滿同胞の教育機關の充實は各方面から要望されてあるので、これを實現させるのには、先づ新しく出來た奉天の東光中學校の内容を充實させることが一番だと思ひましたので、僅かです が東光中學校の基金の一部として僅少の土地を寄附することを本府にお願ひした次第です（寫眞は朴名譽總領事）」

案外重いぞナス袋
けふはお役人のニコ〳〵日
全鮮の總額五百萬圓

◇…全鮮十萬あまりのお役人へけふ十五日一齊に待望のボーナスが出る、例年に比べて袋は重く役所といふ役所はニコ〳〵顏で埋まるだらう

◇…先づお膝元の本府は職員から雇傭人まで入れて二千八百人の大世帶、高等官は例年に比しあまり變りはないが、それでも十五割から十七、八割　判任官になると最低は二十割位から最高廿四、五割といふ例年に比べて二割から五割多く雇傭人は二十三、四割から三十割といふところで本府だけの總額が廿五萬圓

◇…地方では國庫支辨の俸給をいたゞいてゐる役人は六萬七、八千人で、賞與の總額はザッと二百五十萬圓に及び高等官は本府あたりと差はないが判任官は從來十五割見當であつたものが本年は廿割にもなつてゐる、

◇…新規以來晝夜の別なく活躍した警察官中巡査は約二萬ある、その總額は百七十萬圓で平均十八割にあたり昨年の十六割に比すると二割方の増であるが、ほかの役所に比べると少々氣の毒だ、次に警部、警部補は全鮮約千三百人でこの總計二十萬圓、平均二十割弱で昨年の十七割八分に比べると二割二分の増加となつてゐる

初等教育大會
一月中旬開催

京城府では初等教育の重要性に鑑み明春一月十六、十七の兩日南大門小學校に於て府內初等教育研究大會を開催、大いに教育の向上をはかることになつた

巷の噂…近頃商賣は各方面とも不振が叫ばれてゐるが、『齲齒の齒本』だけは反對にメキメキ増加しつゝあるとか、何時の世にも變らぬは親心、良いものに不景氣なし、は商賣の常道――

警報解除【十四日午後四時京城測候所發表】十四日午後三時卅分特報した注意報事項は解除す

一夜に四重の惨事
平壤署てんてこ舞

【平壤電話】十三日夜來の雪は雨まじりとなつて十四日の平壤の街路は鏡の面の如く氷結、街頭惨事や悲喜劇が隨所に繰擴げられた、十四日午前零時頃府內東町派出所前に朱に染まつた朝鮮人男が昏倒してゐるのを年末特別警戒中の平壤署員が發見、大騷ぎとなり最寄病院にかつぎ込み應急手當を加へると共に犯罪捜査に移つたが現場に遺棄されてゐた自動車の前燈破片から某タクシーの運轉手朱某（二七）が轢き逃げしたものと判明、目下嚴重取調べ中であるが被害者西城里金永石（三五）は相當重傷である、又午前一時頃賑町遊廓裏大同江氷上に血塗れ男が昏倒してゐるのを通行人が發見、自動車轢き逃げ事件直後だけに又一騷ぎ演じたが、右は橋口町三九醉拂夫金岡某（二七）で泥醉の結果高さ五間の堤防から顛落したものと判明した、次いで午前四時四十五分頃第一タクシー運轉手金澤某（二五）がカフエー・キリンに向ふ途中同里七番地先路上でスリップして路傍の民家の屋上に墜落、自動車を大破し民家の屋根を突き拔いた、このもの音に同所林化哲（二六）は戸外に飛び出したとたん滑り轉んで後頭部を強打、全治三週間の重傷を負うた

愛國子女團
十八日結成式を擧行

銃後の未成年女子を以て一丸とする"愛國子女團"の結成運動は十三日午後府廳に關係者を集め嚴選の結果取敢ず府立第一、第二兩高女、女子實業の三校二千六百名の子女により結成することになり十八日午後一時より府民館に於て發團式を擧行、宣言綱領を發表することゝなつた、同會子女團は中學女學生の外銀行會社等の勤勞未成年女子をも網羅する綜合團體とする豫定であつたが、都合により個々に結成することになつた

感激に胸せまる
内鮮一體の佳話
出征勇士の家族にそゝぐ
半島農民の隣人愛

これぞ明朗半島の姿――京畿道高陽郡中面舞項里の部落民達は同部落から後藤田幸實君ほか一名の勇士が北支の第一線に出動することゝなるや全部落の名譽とばかり兩勇士出發の際は數十旒の歡送旗を押立て、老幼婦女に至るまで約二千名が一山驛まで見送りその行を旺んならしめた、その後後藤田君の留守宅に對しては、應召者の留守宅を困らせては我が部落の恥だと部落民一同朝に夕に三歳になる長女敏子さんを相手に留守宅を守る妻女勝子さん（二七）を訪問するは勿論、農繁期に際しては部落民は毎日數名宛交替で收穫物の取入れ、堆肥切替、水汲など物心兩方面に亙つて銃後の赤誠を披瀝してゐる、このほど京畿道の應召者家族狀況調査に出向いた守井視學は端なくもこの事實を知り、感激して知事に報告したが更に去る十一日勝子さんから左のやうな禮狀が甘庶知事宛に屆けられ知事以下全職員の感激を新たにしてゐる（勝子さんの禮狀は原文のまゝ）

感謝の心持を表す道は
唯拜むより外ありません
知事へ宛てた勝子さんの手紙

亂筆にて御免下さいませ、先達は遠い所をわざ〳〵都から守井視學さんが御見舞に御出で下さいまして、知事閣下の御心使ひふるゝ御慰問の御土産を頂戴いたし身にあまる光榮に唯々感涙に咽んで居る次第で御座います 夫の出征は國民といたしまして身東綿にあるものゝ義務で御座いますので、夫も私も常日頃から覺悟と用意をいたして居りました、夫は今回もいよ〳〵御奉公が出來るときが來た一身一家の名譽と喜び勇んでまゐりました私に遺されました仕事は幼兒を守りながらさゝやかな農業をつゞけ夫の心となつて銃後の本分をつくすことだと信じまして心強く働いて居りますが、部落の明朗の方々が舉つて出征軍人の家族を困らせてはいけないと大變な力の入れ方で御世話をして下さいますのには全くお禮の言葉も御座いません秋の田畑の仕事などは自分のは後まはしにしても私の方の仕事をすつ

名物干柿
江華島から
澤山持込む

京畿道江華郡民一同は支那事變以來八千六百圓の獻金をなし銃後の熱誠を披瀝してゐるが、同郡民達は南京陥落と聞いて飛上り、皇軍の勞をねぎらふため十三日朝慰問袋五百個に江華名物干柿六百貫を京畿道廳に運び込み手續方を依頼道職員を感激させてゐる

慰問袋と

愛國金字塔

◇慶南昌寧郡遊漁面報國婦人會三百餘名は、十一月初旬から遊漁面報國婦人會を組織し精勵作興週間中、節米貯蓄や廢物蒐集などで卅圓五十六錢を得、龍山師團愛兵部へ皇軍慰問金として獻金した

◇全南靈巖郡鶴山公立普通學校兒童八十六名は皇軍の奮勵に感激し小さな胸に決意をたゝみ十二月一日から五日まで毎日放課後落穗拾ひをして賣り、その代金五圓十錢で「かちどき」五十一箇を購入、愛兵部へ獻納した

◇黃海道谷山公立普通學校生徒三

かり片付けて下さいました、私の手を出すすきも御座いませんでした、心からつくして下さる御親切私はおかげさまで外の必要の心もちを表はす道が御座いません、視學さんも大變感激なさいまして部落の方々に心をこめてお禮まはりをして下さいましたる此樣に皆さんに厚いお情をうけるにつきましても、どうか夫が十分な働きをしてくれゝばとそれのみ神樣にお祈りいたして居ります、これが皆さんの御恩にむくゆる唯一つの道と信ずるので御座います、お禮の言葉にかねまして申上げる次第で御座います、何卒御安心下さいますやうお願ひいたします（寫眞は自宅の前の勝子さん）

第三御影丸危險去る
天草丸清津へ

【清津電話】遭難船第三御影丸の十四日午前二時の位置は東經百三十五度一四、北緯三十九度五一で天草丸は午前三時五十分現場に到着したが、風波も凪いだので御影丸を曳航清津に向け航行、同日午後二時入港の豫定である、一方十三日新潟出帆の滿洲丸は十四日午後二時現場に到着御影丸を捜索しつゝあり、なほサルベージ船は十四日夜門司を出帆、現場に急航し滿洲丸と交替のはずである

神域を血に染め
相場師大亂鬪
釜山龍頭山の腥劇

【釜山電話】釜山米穀取引所を根城として暗躍する相場師の一味は親分府内中島町運輸業今村こと金業□（三七）が數日前死亡したので二派に分れ互に反目し合つてゐたが、十四日正午すぎ龍頭山神社前の廣場で大倉町二木村こと朴仁國（三七）一派と同じく谷町安吉藏（二七）の乾兒約四十五名が棍棒と日本刀を揮つて亂鬪し、木村側のために安吉藏ほか數名の負傷者を出した、釜山署では急報により警官並に刑事總出で取鎭めに當り首謀者その他五名を檢擧取調べ中である

親の小切手で
大金引出し

既報、親の金一千七百五十圓を持つて師走の街に姿を晦ました京城旭町三七吳川清七君（一七）は親の小切手を持出し朝鮮銀行仁川支店で（同支店員は誤り）現金に取替へたことが判り引續き搜査中

軍國の義士祭

赤穗義士討入りの日、十四日京城元町小學校では三年生以上の生徒百三十九名は皇軍勝利の方法を色々考へた結果休日放課後を利用し山に登つて薪を採つたり繩をなつて賣つたり或は校内に販賣部を設け學用品を賣つて十一圓三十四錢を得、二十師團愛兵部へ皇軍慰問金として獻納した

が午後五時半校庭に集合、焚き火に氣勢をあげて「四十七士」の歌を高唱しながら意氣揚々と隊伍を整へて朝鮮神宮に參拜、神前で校長先生の訓話を聽き「四十七士の歌」を合唱してのち再び行軍　歸校して解散した、なほ京城義士會では午後五時半から本町二丁目米作に集合、第四回の「義士祭」を行ひ討入そばを食つて閉會した（寫眞は神宮參拜の元町校兒童）

山本悌二郎氏
十四日逝去

【東京電話】かねて宿痾のため自宅で療養中であつた政友會の長老山本悌二郎氏は病勢革まり十四日正午逝去した、享年六十八（寫眞は山本氏）

南京城中華門一番乘りの岡本部隊＝航空便

いくらでも來い
郵便輸送陣を整へて
遞信局が大ハリキリの巻

年賀狀

遞信局では忙しい年の瀬を前夜に控へ、ドッと押寄せる年賀狀や年末、年始の小包の激増に備へて收穫線に乘り出して萬全を期すべく準備を進めてゐたが、十一日から釜山、京城間、京城、安東間の鐵道郵便車室の擴張及び京城吉州間鐵道郵便車の運轉延長を初め主要線路である釜山京城間、京城平壤間及び京城　清津間の既設郵便車を補強する外定期または不定期に汽車遞送便を增發し地方的には自動車遞送の能力を增大して年末から年始へかけての輸送陣を強化することゝなつた

銘酒ケイリン

傳書鳩獻納
咸興益田氏
重ねて美擧

【咸興】さきに咸興聯隊へ軍用犬を獻納した咸興の篤志家益田歌兵衛氏は今回軍用鳩十五羽を龍山第二十師團燒場に獻納した、益田氏の重ね〳〵の美擧は非常な好感を以て迎へられてゐる

我陸軍機最初の南京着陸

【〇〇基地にて十四日同盟特派員】陸軍航空部隊の柿本伍長機は十四日朝〇〇基地を離陸同九時三十分南京郊外大校場飛行場に着陸、我軍用機として最初の車輪印をし無事基地に歸還した

飛降り女負傷

十四日午後六時半ごろ京城新堂町二一七ノ三八朴秀錫母金氏（□□）は東大門停留所附近で電車から飛降り舗道で頭部を打つて東大門婦人病院に擔ぎ込まれたが全治三週間の負傷

けふの天氣

晴れたり曇つたり【きのふの最低温度】零下三度四

妻【121】

小島政二郎作　宮田重雄繪

罠(三)

『済みません度々――』

鈴子は自分の云ふだけづつ、少しもこだはらずに貸してくれる貸し主の大様さが有難かつた。

その我も、返すつもりが返せず利子も入れられないやうな時があつても、立花にさう云つて頼むと、不在貸し主は厭な顔一つせずに『ようござんす。』

立花を介してさう云ふ返事をしてくれた。

馴れるに從つて、鈴子の方もだん〳〵圖々しくなつて

『立花さん、済みません、今月ももう一度待つて貰へないかしら。』

悪い氣がある譯ではないのだが無い袖は振れぬままに、ついルーズになつて行つた。

『兎に角、後で話して返事を貰つて置きますから――』

いつもの調子で、立花も氣輕に引き受けてくれた。

が、ハネ近くになつて、鈴子が部屋で顔を直してゐると、立花が

『やあ、遅くなつて。今日はどうしたのか虫のゐどころが惡くつてね、今まで僕が弄を殺られちやつた。』

這入つて來るなり、笑顔で渋面を作りながらいつた。

『まあ、それは済みません。何だつていふの?』

『君を――つまり僕のことです――信用していかなり放題になつてゐたが、少し無理ぢやないかッていふんです。』

『……』

頷きながら、鈴子は心が蒼白くなるのを覺えた。

『君は今月を何月だと思つてゐるんだ?十二月だぜ。また月でも變つたら、改めて話すとしても、兎に角一應ここで切りを附けて貰はう。――さういふんです。』

『無理もないけれど、今になつて急にそんなことをいはれても、私の方だつて困るわ。』

『そりやさうですよ。だから僕も擬這これ努めたんですがね、大將、何といつても聞き入れてくれないんです。』

『困るわ。』

『僕もあなたの事情をよく述べてからくかういふ譯で、無責任でも、誠意がないのでもない、急に全部返すなんてことは不可能だけれど、僕が責任を負つて、來年の彩頭までにはきつと清算するから――さう云つて、言葉を盡して頼んで見たんですが、大將、何と云つても、頑として聞き入れないんです。』

『困つたわね。どうしませう。』

『これは僕の一存ですがね、この上は、あなたがぢかに逢つて、もう一度頼んで見る外ないと思ふんですが――。直接逢つてよく話をすれば、またおのづからそこに融通するものがあると思ふんです。』

『さうねえ。さうしますわ。あなた、御迷惑でも、連れて行つて下さらない?』

RADIO

十五日(水)

第一放送

午前六時五五分　ニユース

同七時一分(東)基礎獨語講座(四十)

同七時三〇分(京)朝の修養　歸命本願鈔(一)　佛教專門學校教授　石橋誠道

同七時五一分(東)ラヂオ體操

同八時一〇分　今日の天氣見込

同九時二〇分(城)氣象通報

同九時四五分(城)料理献立(櫻海老の精揚げ)(牛肉の汁物)(漬物)

同九時五五分(東)家庭メモ

同一〇時三〇分(東)母の時間　冬休にあたりて(二)　醫學博士　加用信憲

同一一時(大)小學生の時間『海一・二』唱歌劇『仲よし二よし』　丸山コドモ會兒童

正午(東)時報外

午後零時五分(東)軍歌　獨唱(四)平間文壽　合唱　大日本聯合合唱隊　一、遠征萬里二、新戰場三、陣中の月四、すめらみいくさ五、戰闘機決戰

同零時三三分(大)國民歌謡　南京にあがる凱歌　内田榮一

同零時三〇分　ニユース

同一時一〇分(東)軍用犬はどう訓練されるか―千葉市陸軍歩兵學校より中繼―

同二時(大)小學生の時間『國史劇『明治の御代』』　大阪國史劇研究會

同二時三〇分(東)家庭講座　非常時の歳末心得(終)歳末雜感　文學博士　矢吹慶輝

同三時一〇分(名)教師の時間　放送教育の效果　名古屋市堀田小學校長　早瀬松蔵

同四時　ニユース外

同六時(大)連續實話劇　日出ちやんのお手柄(二)

同六時二〇分(東)コドモの新聞

同六時二五分(城)講演　ザメンホフ博士の偉業を思ふ　岡本好次

同六時五五分(東)カレントトピツクス

同七時　ニユース外

同七時三〇分(東)講演　我が財界五十年の變遷と東京手形交換所の沿革　東京手形交換所理事長　森廣藏

同八時(東)講演　貯蓄債券の賣出しについて　大藏省預金部資金局長　廣瀬豐作

同八時一五分　獨唱(京城)　鈴木美佐保　ピアノ伴奏　竹井察子

一、『フライシユーツ』の中より
二、セレナーデ
三、リンデの香り
四、マリアの子守唄

同八時一五分(釜山)ラヂオ・ルポルタージユ〃最後の便り〃　JBAK編輯　富田美代子

同八時一五分　マンドリン・ギター獨奏と三重奏(平壌)獨奏並　第一マンドリン　柴山信雄　第二マンドリン　佐藤一磨　ギター　宇都宮道之介

一、三重奏　荒城の月に寄す
二、ギター獨奏　バレー
三、マンドリン獨奏　夜の鐘
四、ギター獨奏　雨滴
五、三重奏　軒訪るゝ秋雨
六、マンドリン獨奏　マドリッドの一夜
七、三重奏　エスパナ

同八時一五分　長唄(清津)〃筑摩川〃　唄　杵屋勝鐵郎外　三味線　杵屋勝明　上調子　杵屋友世

同八時三五分(大)ラヂオ新舞踊　白衣に輝く大凱歌　高橋潤

同八時五五分(東)浪花節二題(下)倉橋傳助　蛟龍齋青雲

同九時三〇分(東)時報・ニユース　今月の天氣案内外

同一〇時(城)朝鮮語ニユース　引續き(城)地方へのニユース　銃後美談

同一〇時三五分(東)英語ニユース

同一〇時四五分(東)支那語ニユース

同一〇時五五分(城)ロシア語ニユース

第二放送

午後零時五分(東)合唱

同一時一五分　家庭の時間　張和順

同六時　兒童と先生の時間

同六時三〇分　講演　朱…

同七時四〇分　農村講座(三)

同八時一〇分　軍歌のおけいこ　金華

同八時二五分　伽倻琴散調と…　沈相…

同九時　連續講談(三)　…秋

あすのきもの　十六日(木)

午後零時五分(東)俗曲

同六時二五分(城)講演

一、明朗化せる北支　京城日報社特派員　松田定久

二、聖戰を征く　朝鮮日々新聞社特派員　川邊

同六時二五分　講演(清津)　山西戰に從軍して　北鮮日々新聞社特派員　山田…

同七時三〇分(東)講演(一)政治二年を回顧して　法學博士　松田道一

同八時(城)小唄　唄　田村美佐代

同八時一〇分(城)新日本音樂　管絃組曲　今井…

同八時三〇分(東)ピアノ獨奏　レオニード・クロイツア

同九時(東)連續講談

オヂラ

演講

我財界五十年の變遷と東京手形交換所の沿革

東京手形交換所理事長　森廣藏

東京手形交換所は明治二十年十二月一日の創立になり、去る十二月一日を以て滿五十年を迎ふるに至つた。しかして此の五十年間の我財界の變遷を顧みるに他國に類例を見ない著しき進歩躍進を遂げたのである。之には種々の原因があつたが、其の重要なるモーメントとなつたものは云ふまでもなく日清日露、歐洲の三大戰役並に滿洲事變による劃期的發展である。でこれら各時代に交換所が如何なる活動を行つて來たかを簡單に述べ最後に滿洲事變以來今日に至る最近の發展狀態を述べて見ようと思ふ

ザメンホフ博士の偉業を思ふ

講演(六・二五)　岡本好次

今月今日は國際語エスペラントの生みの親ザメンホフ博士の誕生日にあたりますのでザ博士の逸話やエスペラントの生立についてお話致したいと思ひますがどなたもお聞きになりたいことはさういふことよりもエスペラントが現在どの位使用されてゐるかといふことではないかと思ひますので博士のことは又の機會にゆずりまして今は主にエスペラントの普及狀態を中心にお話申上げたいと思ひます

倉橋傳助

蛟龍齋青雲

義士の夕浪曲第二夜

大和流の弓術の名人、旗本長谷丹波守の次男坊、金次郎、道樂の末が勘當の身となり、今では浪家の足輕になつて倉橋傳助と名つてゐた時のことである

檜皮五代將軍の御臺所に當り各大名旗本家々で御祝があり、野家でも武藝奨勵の爲とあつて大和流弓術の腕競べが行はれ弓術心得のあるものは身分を問はないと云ふので、倉橋傳助も一に自慢弓術の手並を現はしに技群の功を立てゝ、五十石取の役に出世する

そしてはからずも主君淺野侯の術の師匠が長谷川丹波守であつたことから、淺野侯のはからひでこに丁度足かけ五年目で、親子弟の再會をすると云ふ、四十七士の一人倉橋傳助の一席

京日特選棋譜(17)

八段　高部道平　　荒木親吉

黒二百二十より白二百三十九迄、△三十九粘△二十の處

輝く四目

覆面道人

後手一目半

惜しくも終局となつた。

昨日は黒二百二十に白二百二十一まで、そして今日は黒二百二十二以下二百二十四で、更に二百三十五と切りを強した。その計算は後手一目半である。

また白二百二十五は、次に二百二十六の眞上に飛付け……と巧い手があつて、これが以下黒二百二十八までとなつた次第。更に白二百三十一も先手、次で白二百三十二は黒一より白二百三十九までの計を試みることとする。

合計白地六十目

これでは不氣味な白にとつてのいい儀分である。

そして以下黒二百三十まで一二を稍ぎ、また白二百三十一の所に…は一點もない。結局の次第…上隅と左下隅の白地…地二十七目なほ中央の白地…

これで本局は白軍の四目…つて終局したが、この…説明する必要を認ずる。